

中山事務所管内より



いつも一緒にいたいよ♡

ゆうちゃん(3)
飼い主：小松 敏一さん

昨年10月、高知市の知人の家から安田町の小松家にやってきたゆうちゃん。“優”しい子になってほしい、敏一さんの“友”になってほしい。そんな思いを込めて、“ゆう”と名付けました。

一緒に暮らすようになってまだ数か月ですが、2人はすっかり仲良し♡ 敏一さんがユズやシャクヤクなどの圃場に行く時も、軽トラの後ろに乗って一緒に出掛けます。姿が見えない時は、寂しくて大きな声で吠えて探しているそう。撮影中も、敏一さんにすり寄って甘えている姿がとってもチャーミングでした♪

お姉ちゃんになったばかりだよ

小松 叶香ちゃん(3)

普段は父・慎一郎さん、母・香さんと安芸市で暮らす叶香ちゃん。週末は毎週のように、祖父・明彦さん、祖母・千枝さんの住む安田町へ遊びにやって来ます。明彦さんも千枝さんも、孫に会えることが一番の楽しみ。釣りが趣味の明彦さんは、叶香ちゃんに「ビンビ食べたい!」とおねだりされると、ルンルンで海へ出掛けて行くそうです。明彦さんと千枝さんが作ったブロッコリーやナスも大好き! モリモリとたくさん食べます。

2月には弟が生まれ、お姉ちゃんになったばかり。しっかり者の叶香ちゃんは、弟ができることをずっと楽しみにしていました。これから弟のお世話を頑張ってね!

安田支所管内より



安芸
地区

から こんには 今月の〇〇 気になる人

北川支所管内より



生きる支えは、歌を作ること

濱渦 静子さん(81)

昨年9月、人生3冊目の歌集「静思集」を自費出版した静子さん。学生時代から文学好きで、看護師として働きながらも50年以上短歌を続けてきました。「日常生活の中のうれしいことも悲しいことも、全て歌に託する」とその時の情景や雲の動きを素早くキャッチし、表現する言葉を考えます。できるだけ平易な言葉を選び、何度も練り直して完成させます。

県外から要請があれば、自分のレベルを知るチャンスだと、東京のNHK全国短歌大会や現代短歌大会などへも出品します。「私の生きる支えは、歌を作ること」と今でも挑戦を続けています。

雨あがり 山の畑に陽の差せば 柚子の葉群れに
湯気たちのぼる 「静思集」より

毎年いろんなことを実験したい

(上) 山崎 健一さん(53)
 恵子さん(46)
(下) 岩崎 智子さん(50)

安芸市川北でナス19アールを栽培する健一さん。手伝ってくれる妻・恵子さんと妹・智子さんと3人で、ハウスの中はとても賑やかです。以前はスーパーの店長などの仕事をしていましたが、自分でしたことが全部自分へ返ってくる農業に惹かれて転職しました。

(株)尾原農園で施設園芸の基礎を1年間学んだ後、親戚のハウスを借りて就農。今年、完成したばかりのハウスで3作目を迎えます。「今はまだ白紙。ここからどこまで伸ばせるかが勝負」と来年の規模拡大、さらに再来年の計画に向かって動いています。昔からの作りが好きだったと言うだけあって、「毎年いろんなことを実験して、どんどん良くしていきたい」と挑戦を楽しんでいます。

あき東支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 吉良川支所

ひなまつりで芋天と芋ドーナツ人気



芋天や芋ドーナツは子どもにも大人気

女性部吉良川支部は2月29日～3月3日、「吉良川の町家ひなまつり」に出店し、地元農産物をPRしました。部員は、「西山きんとき」と加工品を販売。イモの甘さが引き立つ芋天と、ペースト状のサツマイモを生地に練りこんだモチモチ食感の芋ドーナツが人気を集めました。高知市からの来店者は「毎年必ず買いに来てい」と笑顔で話しました。小松三枝子支部長は「地元農産物の美味しさを、より多くの人に知ってもらいたい」と調理に励みました。

3 吉良川支所

収穫したダイコンで漬物作り



「漬物大好き」と調理に励む児童

青壮年部吉良川支部は2月25日、吉良川小学校1、2年生の児童17人と漬物作りを行いました。児童と部員は、塩漬けしておいたダイコンに砂糖やたくあん用の黄粉、酢、出し昆布、唐辛子を加え、混ぜていきました。ダイコンは、児童と一緒に昨年植えたダイコンを、2月に収穫したものを使用。作った漬物は、公民館や保育園など地域のお世話になった方へ販売する予定です。児童は「収穫も漬物作りも楽しかった」と話しました。

6 地区本部

龍馬マラソン ナスゼリーで応援！



雨の中、力走するランナーへゼリーを手渡す職員ら

安芸地区は2月16日、「龍馬マラソン2020」でナスゼリー約5000個をランナーへ振る舞いました。職員らは、22時時点の第8給水所で、「頑張ってください！」と声を掛けながらゼリーを手渡しました。ランナーは「ナスゼリーを楽しみに来た」「すごく美味しい」とおもてなしを喜んでいました。企画組員課の島田千恵さんは「ナスゼリーを楽しみにしてくるランナーも増えてきたので、今後も続けていきたい」と意気込みます。

4 安芸営農経済センター

ゴミを拾って、気持ちよく



漁港周辺で協力してゴミを拾う部員

青壮年部は2月21日、道の駅大山周辺で清掃活動を行い、4支部から12人が参加しました。部員は山側と海側の二手に分かれ、歩道や車道、漁港や公園などに落ちていたゴミを回収。ゴミ袋8つ分を拾いました。部員は「今年はゴミが少なくて良かった」「綺麗になって気持ちいい」と汗を流しました。西岡幹典副部長は「落ちていたゴミは少ない方が良いが、清掃して観光客や地元の人にもっと気持ちよく過ごしてもらいたい」と話しました。



部員に教わりながら調理する参加者

1 地区本部

部員が「土佐の料理传承人」消費者へ郷土料理教える

園芸女性部は2月8日、高知市で開かれた郷土料理伝承講座に「土佐の料理传承人」として参加。県内の消費者ら28人に、特産のナスの味わい方を披露しました。参加者は「米ナスのたたき」「ナスの豚肉巻き」「ナスとシントウのしょうゆ煮」などを調理。部員からナスの切り方や揚げ加減など細かい工程を教わりながら、料理を仕上げました。参加者は「子どもへ郷土料理を教えたくて参加した」「ナス料理のレパートリーが増えて嬉しい」と喜んでいました。渡辺り部長は「消費者と交流できる貴重な機会。みんなで教えながら楽しんで調理できた」と笑顔で話しました。同講座は、県内の各地域で郷土料理に卓越した知識・技術等を有し、伝承活動に取り組む「土佐の料理传承人」が講師を務めます。現在63の個人と団体を県が選定。県農業振興部の前田淑課長補佐は「講座で学んだことを家族や地域の人に広げてもらい、料理传承人の味や技を継ぐ存在になってほしい」と期待を寄せます。



アンケートに答える来店者

2 安芸営農経済センター

ナスの機能性 銀座で消費者にアピール

園芸研究会は2月6日、銀座の高知県アンテナショップ「まるごと高知」で、ナスに含まれる機能性成分などをアピールしました。生産者やJA職員が、来店者にナスやレシピなどを配布して、機能性表示に関するアンケートを行いました。ナスに多く含まれるコリンエステルには、血圧や気分を改善する効果があるとされています。JA高知県、県農業技術センター、株式会社ナスは、さらなる消費拡大につなげるため、ナスの機能性表示を目指しています。アンケートでは、食品を買うときの基準や、ナスの機能性の認知度、利用したい機能性のナス商品などを確かめました。機能性表示食品の開発の際、消費者の意見を参考にしていきます。来店者は「ナスにこんな効果があることを初めて知った」と積極的にアンケートに答えてくれました。同研究会の清岡弘会長は「ナスの健康効果について消費者に直接説明することができ、理解してもらえてよかった」と話しました。

えいのう〜



腐敗果・ボケ果対策

ナス

4月17日は、なすび記念日です。徹底した品質管理で、消費者の皆様においしいナスを食べて頂きましょう。

腐敗果防止対策

- 最盛期を迎え、腐敗果の発生が多くなる時期になります。そこで、腐敗果対策として左記の項目に注意しましょう。
- 花抜きは徹底して行う。
- 整枝・摘葉を十分に行う。
- 換気・灌水を十分に行う。
- 被害果や被害葉をハウス外に出し、圃場を清潔に保つ。
- 選果を十分に行い、腐敗果およびへた傷み果を混入させない。
- **品質低下対策（ボケ果等）**
着果数が多くなると、各果実に送られる養水分が不足し、ボケ果の発生などの品質低下や樹勢の低下につながります。灌水の間隔を短くし、一芽摘芯・摘果を行い着果過多状態にさせないようにしましょう。
- **温度・湿度管理**
日中は30℃以上の高温に注意し、夜温は15℃を目安に管理し



安芸営農経済センター 営農指導課 芸東ブロック 池知 雅貴

湿度管理については、天窓を3〜4cm程度空けて湿気を抜きます。雨天時でも、降り込みがなければサイドや天窓を少し開けて、場合によっては加温をし、相對湿度を落としましょう。

灌水・追肥

灌水は1〜2日ごと（晴天時は毎日）を目安に行い、灌水量も増やします。

曇雨天時後の晴天日には、日焼け果・ボケ果防止の為、早朝（7時頃）から灌水を十分に行いましょう。

追肥は液肥を灌水のたびに10アル当りチン成分で0.2〜0.5kg程度を施用しましょう。

整枝・摘葉

日射量の増加に合わせて上位側枝を伸ばすなど、葉面積を十分確保し、ふところは混み合わないよう適度に整枝・摘葉を行いましょう。

病害虫

黒枯病（水泡病）・すすかび病・褐色腐敗病・フザリウム立枯病などに注意しましょう。

発芽期の防除

カンキツ

春が近づくにつれ、降水量が増えてくるので、そうか病の防除が遅れないように注意しましょう。

そうか病の防除

そうか病は、葉や果実、枝に飛び出した病斑やガサガサしたかさぶた状の病斑が発生する病気です。特に、温州みかんやレモン等はそうか病が発生しやすいので、これらの品種ではしっかりと防除しましょう。

また、発芽期から新梢伸長期にかけて気温が比較的低温、降雨量が多いと葉での発病が多くなります。葉や枝の病斑は果実への重要な感染源となりますので、発芽期の防除をしっかりと行うことが重要です。果実では落弁後が発病しやすく、花弁が落ちる時期から7月下旬までの降雨量が多いと発病が多くなります。

防除のポイント

- 発芽初期（早い新梢で1cm程度）にしっかりと薬剤防除を行う。
- 伝染源となるので罹病している枝や葉を発芽期までに剪除する。



安芸営農経済センター 営農指導課 中芸ブロック 久保 巴哉

● 枝が遅伸びしないように窒素肥料のやり過ぎには注意する。

● 密植状態の圃場では整枝・剪定で通風と採光の改善を図る。

発芽初期以降の防除は、落弁期、幼果期です。特に果実に対する感染を防止する為には落弁期の防除が重要です。落弁期は灰色かび病や黒点病の防除時期でもあり、これらの病気と同時防除できる薬剤で散布を行います。

そうか病（薬剤防除例）

- 4月中下旬（発芽期）
ムッシュホルダー 500倍
- 5月下旬（落弁期）
ナリアWDG 2000倍
ファンタジスタ顆粒水和剤 4000倍

※灰色かび病と同時防除



そうか病のイボ型病斑罹病葉



果実での被害果

振興センターだより

種がほとんど入らないブンタン新品種「瑞季(みずき)」の紹介

中平 智章

本県も参画して実施した農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（課題番号：27035C）において、カンキツ栽培で重要な病害の1つであるカンキツかいよう病に強く、種がほとんど入らない無核性ブンタン品種「瑞季(みずき)」が開発されたので紹介します。

本品種は広島県と国立大学法人京都大学が共同で開発した品種で、その栽培特性等を高知県と広島県で実証試験し、その特性が認められ、令和元年11月20日に品種登録されました。



写真1 「瑞季」着果状況

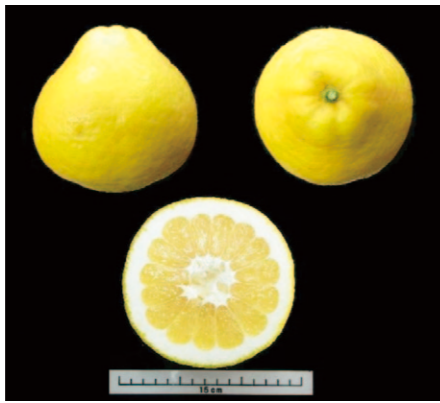


写真2 「瑞季」果実断面

果皮は鮮やかな黄色（写真1、2）で、香りは花粉親の「サザンイエロー」に近く、甘い芳香を有しています。果実形状は短卵形で果梗部に短い出っ張りを生じる場合があります（写真2）。果実重は500g程度で、完全種子数は2.0個と極めて少ないです。食べられ

る部分を表す果肉歩合は58.8%と「土佐文旦」とほぼ同等で、果肉は柔らかく多汁でカットフルーツに適しています（表）。

表 「瑞季」の果実特性

着色始期	完全着色期	果実重 (g)	果皮厚 (mm)
9月29日	12月2日	503.9	10.1
果肉歩合 (%)	完全種子数	糖度 (°Brix)	酸度 (%)
58.6	2.0	12.4	1.11

データは広島総研農技センターから引用
2019年3月7日収穫、ポリ袋常温貯蔵後、4月15日分析

食べ方は果実を赤道面でカットし、スプーンですくって食べるのに適しており、「皮を剥くのが面倒」、「手が汚れる」といった、若者の果物離れの要因でもあるマイナス面が克服された簡便に食べられる新しいブンタン品種です。4月中旬以降に成熟する晩生品種で、育成地である広島県では瀬戸内の温暖な気候を活かし樹上で越冬させ、カンキツ類が品薄となる4月中旬以降の端境期の出荷を狙っています。ただ、

冬季に寒害の恐れがある地域では、寒波襲来前に収穫し貯蔵を行います。その際、マルチ栽培等で秋季から糖度上昇を図り、収穫後は3月下旬まで常温で貯蔵することで、減酸が進み食味が良好となります。これら早期に収穫した果実は春先の気温上昇とともに、果心周辺部が白濁する場合があります。3月下旬以降は8℃程度で冷蔵貯蔵します。

9月以降、こはん様症状が出る場合がありますが、軽度の場合は着色が進むとわかりにくくなります。日射しが当たる面に発生が多く見られ、化繊布（サンエ）被覆で軽減できますが、これについては原因を究明中です。また、ハウス栽培等で開花〜幼果期に高温に遭遇すると、種子が入りやすくなるため、換気に注意する必要があります。

本品種の苗木は供給地域を限定せず、全国での栽培が可能です。早ければ令和3年3月から苗木の供給が始まりますので、こうち農業ネットHPやFacebook等でお知らせいたします（安芸農業振興センター室戸支所）。

安芸農業振興センター 08871340138

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

- ▼ 私の住む集落でも、イノシシ、シカ等にミカンやサツマイモ等が被害にあい困っています。特集では、テキサスゲートグレーチングや柵など工夫されていて、参考にしたいなと思いました。でも、補助金がないと難しいですね。
(あき東支所・50歳)
- ▼ 鳥獣被害対策は県内全地域の課題ですね。生活に切り離せない問題なので、また最新情報をお伝えできればと思っています。
(吉良川支所・62歳)
- ▼ ジビエ料理、ぜひ一度お試しください。私たちにすぐできることは、鳥獣をおいしい命としていただくことです。
(あき北支所・69歳)
- 米ヶ岡のどぶろくを作る坂本さん、チャレンジ精神がすごい。同い年なのにと、わが身を反省。
(あき北支所・69歳)
- ▼ 家業を退いてからのどぶろく作りには、地域への深い愛情を感じました。県内西部で盛んなどぶろく作りが、奈半利町から東部にも広まってほしいです。
(あき北支所・69歳)
- 「安芸地区からこんにちは、今月の気になる人」で知り合いを見つけたたびに連絡をしています。近頃、毎号知り合いが載っているので嬉しいです。
(田野支所・60歳)
- ▼ 広報誌が組合員さん同士の「コミュニケーション」の場になれて、とっても光栄です!

先日、読者プレゼントのみかんが当たりました! 80歳近くになるまで、くじには縁がなかったので、夢かと思うほど嬉しくて。今年の重大ニュースになります。
(あき北支所・79歳)

▼ おめでとうございます! くじ運が回ってきたのかもしれないよ。他の抽選にも、チャレンジしましょう!
文旦シーズンですね。県外の子どもへ、「ムッキーちゃん」という皮むき器と一緒に送ると喜んでいました。
(あき北支所・66歳)

▼ ムッキーちゃん、竹村家では必需品! 億劫な皮むきが、楽しくなりますよ。持っていない方は騙されたと思って試してみてください!
4月号から、「こうぐり」裏表紙で新たな企画が始まりました。早速、安芸地区が担当となり、お気に入りの一枚を掲載。お野菜は、集荷場で日直をしているときに、組合員さん2人が届けてくれたものです。「ほめられ酢」やすりごまと和えたピクルスなどを作り、美味しくいただきました! おかわり、いつでもお待ちしております(笑)
インスタグラムでは、安芸地区の情報もたくさんアップしていきます! ぜひ、チェックしてください。
(竹村)

▼ おめでとうございます! くじ運が回ってきたのかもしれないよ。他の抽選にも、チャレンジしましょう!

広報のつぶやき

4月号から、「こうぐり」裏表紙で新たな企画が始まりました。早速、安芸地区が担当となり、お気に入りの一枚を掲載。お野菜は、集荷場で日直をしているときに、組合員さん2人が届けてくれたものです。「ほめられ酢」やすりごまと和えたピクルスなどを作り、美味しくいただきました! おかわり、いつでもお待ちしております(笑)
インスタグラムでは、安芸地区の情報もたくさんアップしていきます! ぜひ、チェックしてください。
(竹村)

INFORMATION

お知らせ

第16期やっぱり農!! いきいきちやぐりん塾 参加者募集中!

今年も5月からちやぐりん塾がスタートします。お友だちと楽しく「食」と「農」を学びませんか?

日程	カリキュラム	日程	カリキュラム
第1回 5月16日(土) 8:30~12:00	開校式 「はじめまして」ドキドキの開校式 野菜の苗を植えよう!	第5回 9月19日(土) 8:30~15:00	土佐あかうしの学習 牛とのふれあい体験 地元食材でBBQ~♪
第2回 6月13日(土) 8:30~12:00	環境保全型農業の学習 農家さんの出前授業! 安芸地区の野菜を使った料理教室	第6回 10月3日(土) 8:30~12:00	稲刈り体験 カマを使って稲刈りに挑戦しよう! ライスセンターの見学
第3回 7月25日(土) 8:30~16:00	「とさのさと」で販売体験 野菜の収穫・袋詰めをしよう! 青壮年部と一緒に販売体験!	第7回 11月28日(土) 8:30~15:00	ユズの学習 今が旬!! ユズの手搾り体験 出前授業でユズについて学ぼう
第4回 8月8日(土) 8:30~15:00	親子ちやぐりんフェスタ 安芸広域公園で昼食づくり&流しそうめん 夏を満喫!! みんなで川遊び!	第8回 12月12日(土) 8:30~12:00	閉校式 「8か月間ありがとう」閉校式 女性部と一緒にもちつき&茶話会

*カリキュラムは天候や作物の状況等により、内容を変更する場合があります。

実施期間

令和2年5月~令和2年12月(全8回)

入校料

6,000円(教材、傷害保険等)、月刊誌「ちやぐりん」年間購読者は3,000円

対象

原則、安芸地区管内の小学生(1~6年)

募集定員

50名

締切

令和2年5月1日(金)

申し込み

お近くの各支所、出張所窓口までお越しください

問い合わせ

安芸地区本部
企画組合員課
0887-34-1515

税務相談日

令和2年4月8日(水)・5月13日(水)

※令和2年度から基本第2水曜日へ変更になります。

会場 あき支所3階

時間 10:00~16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515